

令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていると思いますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
--	---	--

【学校から】「1.一人一人の児童生徒の尊重」と「2.友達への思いやり」では、児童の「4」の割合が昨年より上がり、教職員では「4」と「3」の肯定意見が増え100%になっている。保護者の割合は、昨年同様であった。豊かな心をはぐくむ教育の推進は確実に進んでいるといえる。今後は、保護者にも伝わる取組を進めていきたい。「3.道徳・心の教育の充実」では、保護者の割合は、昨年同様であったが、教職員の「4」の割合が下がり「3」が出てきた。これは、教職員の研修を進めているものの、児童の実態にまだまだ改善点がみられるための結果であると考えられる。今後の課題の一つであり、保護者とも連携して取組を進めていきたい。

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
---	--	---

【学校から】「4.意欲的な学習態度」では、児童の「4」の割合が上がり、教職員・保護者の「4」と「3」の割合が上がっている。確実に学習に対する意欲が出てきていることがうかがえる。「5.授業力の向上」では、児童の「4」の割合が上がっている。教職員の授業力向上がうかがえる。教職員では、「4」が下がっているものの、「4」と「3」の肯定回答が100%となり、教職員の授業力向上に対する意識の向上と実践がうかがえる。「6.ICT活用」については、児童・保護者ともに、「4」と「3」が上がっている。電子黒板やタブレットの導入とともに、教職員のICT活用の研修と実践の成果のあらわれであると思われる。

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>
--

【学校から】児童と教職員の「4」の割合が上がっている。日々の教育活動と学校保健委員会等の「食」と「健康」に関する取組の成果であると考えられる。しかし、「2」と「1」をなくすために、今後も継続した取組と保護者との連携を密にしていきたい。

<h3>①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3>	<h3>②特別支援教育の推進</h3>
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	

【学校から】「8.児童理解」では、児童の「4」の割合が上がり、教職員の「4」と「3」の肯定回答が100%に上がっている。「9.いじめや問題への対応」でも、児童・教職員共に「4」「3」の肯定回答の割合が上がっている。これは、教職員の意識の向上と児童の状況に応じた実践の表れだと考える。教職員の取組が、着実に児童へ伝わるとともに、相互の信頼関係の構築によりつなげていきたい。「10.学校の支援体制」では、教職員・保護者とも昨年度と同様の割合であった。教師は生徒理解やいじめや問題への対応をすべての児童に対して行っているが、「わが子が」「自分が」理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するという点を謙虚に受け止め、更に一人一人に目を向け、対応していきたい。

<h3>①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3>	<h3>②最適な学習環境の整備</h3>
<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>

【学校から】毎月の安全点検をはじめ、各担当が校内の環境整備に努めるとともに、日頃から用具や道具の使い方について指導を継続して行い、児童の事故防止に努めている。また、避難訓練を休み時間に設定するなどの工夫を、より実践的にするなど、今後も安全対策を進めていきたい。

【学校から】施設・設備に関しては、老朽化が否めない。しかし、整備・点検・補修を行いながら、児童の学習環境の整備に努めていきたい。また、市教委への改善要望も進めていきたい。

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解	14 家庭や地域との連携協力																								
<p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p>学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>																								
<table border="1"> <caption>13 教育方針・目標の理解</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>約75%</td> <td>約25%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>約65%</td> <td>約35%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>約85%</td> <td>約15%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	いいえ	保護者	約75%	約25%	児童	約65%	約35%	教職員	約85%	約15%	<table border="1"> <caption>14 家庭や地域との連携協力</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>約85%</td> <td>約15%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>約75%</td> <td>約25%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>約95%</td> <td>約5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	いいえ	保護者	約85%	約15%	児童	約75%	約25%	教職員	約95%	約5%
対象	はい	いいえ																							
保護者	約75%	約25%																							
児童	約65%	約35%																							
教職員	約85%	約15%																							
対象	はい	いいえ																							
保護者	約85%	約15%																							
児童	約75%	約25%																							
教職員	約95%	約5%																							
<p>【学校から】保護者へは、学校だより、学級通信、PTA総会、懇談会などの機会を利用して、教育方針・目標を伝えてきている。児童にも、始業式・終業式、集会時に伝えてきている。今後も機会を捉えて、児童や教職員の姿を通して、「清水小の教育」を伝えるようにしていきたい。また、教職員の働き方改革の視点も考慮しながら、より効果的な家庭や地域との連携・協働も考えていきたい。</p>																									

③本校の教育

15 挨拶や掃除への取組	16 「いいね」があふれる取組	17 情報提供																																				
<p>先生方は、あいさつやそうじなどの指導に力を入れていると思いますか。</p>	<p>先生方は、互いを認め合う「いいね」があふれるような取組に力を入れていると思いますか。</p>	<p>学校は、ホームページや学校便りなどで情報提供に努めていますか。</p>																																				
<table border="1"> <caption>15 挨拶や掃除への取組</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>約75%</td> <td>約25%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>約65%</td> <td>約35%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>約85%</td> <td>約15%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	いいえ	保護者	約75%	約25%	児童	約65%	約35%	教職員	約85%	約15%	<table border="1"> <caption>16 「いいね」があふれる取組</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>約85%</td> <td>約15%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>約75%</td> <td>約25%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>約95%</td> <td>約5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	いいえ	保護者	約85%	約15%	児童	約75%	約25%	教職員	約95%	約5%	<table border="1"> <caption>17 情報提供</caption> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>はい</th> <th>いいえ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>約85%</td> <td>約15%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>約75%</td> <td>約25%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>約95%</td> <td>約5%</td> </tr> </tbody> </table>	対象	はい	いいえ	保護者	約85%	約15%	児童	約75%	約25%	教職員	約95%	約5%
対象	はい	いいえ																																				
保護者	約75%	約25%																																				
児童	約65%	約35%																																				
教職員	約85%	約15%																																				
対象	はい	いいえ																																				
保護者	約85%	約15%																																				
児童	約75%	約25%																																				
教職員	約95%	約5%																																				
対象	はい	いいえ																																				
保護者	約85%	約15%																																				
児童	約75%	約25%																																				
教職員	約95%	約5%																																				
<p>【学校から】今年度は、「互いに認め、支えあい、伸ばしあう学校」～「いいね！」がつくるエンパワーメントスクール～を教育目標として、教職員の授業力の向上・支持的風土を持つ児童集団づくり・共通実践の徹底の3つを柱に取り組んできた。「15.挨拶や掃除への取組」では、児童の「4」の割合が大きくなった。「16.「いいね」があふれる取組」でも、児童の「4」の割合が上がっている。本年度の具体的方策の一つである挨拶のレベルアップや、支持的風土を持つ児童集団作りが進んでいると考える。「17.情報提供」については、昨年と変わらない結果であった。更なる情報提供を工夫していきたい。</p>																																						

来年度の具体的な取り組みについて

- 豊かな心を育み好ましい人間関係を築く力をつけるために、道徳の授業の活性化・児童が活躍する縦割り班活動や集会活動等の特別活動・児童が主体的に進める学校行事等の充実を図り、「いいね」と認め褒める場面を大切にすることで、自己肯定感や他者理解を進め、支持的風土を持つ集団づくりに取り組む。
- 確かな学力を育むために、熊本市学力検査の結果を分析するとともに、少人数指導や教科担任制・交代授業等の推進を図り、教師の専門性や授業力の向上を図る。また、ICT活用の研究を進め、児童が積極的・意欲的に学ぶ支援ツールとしての効果的な活用に取り組む。既習事項の定着化のための取組及び家庭学習の習慣化をすすめ、基礎学力の定着を図っていく。
- 健やかな体を育むために、教科体育で体づくりの運動を取り入れるなどの工夫をし、外遊びの励行を進めていく。また、健康な生活習慣の確立を図るために、健康タイムの継続と、食育の推進等を図り、家庭とも連携し、健やかな体を育む教育を進めていく。
- 児童一人一人を大切に教育を進めるために、心のアンケートをはじめ教育相談期間を設定する。また、SCや心のサポート相談員の活用を図るなどして、児童が安心して相談できる環境を充実させる。さらに、自分らしさを発揮できるように、係活動など、一人一人の個性が生かせる学級づくりを進める。
- 個に応じた指導を徹底していくとともに、校内のバリアフリーや授業のバリアフリーを進めるとともに、心のバリアフリーについても人権教育部を中心に全職員で進めていく。
- 学校の教育活動を学校だよりや学級通信等を発行したり、保護者と密に情報交換したりして、保護者と協働する教育活動を進める。

学校関係者評価

- 授業参観をしてみて、学校全体が、落ち着いて、とてもよかった。授業態度もよく、先生たちの日頃の頑張りを感じることができた。学校評価は、児童の「4」の割合が上がっている項目が多かったのがよかった。最近では、児童の挨拶の状況も格段に良くなっている。これまでの取り組みの成果だと思う。保護者への働き掛けも地域から進めていきたい。
- 学校が明るい雰囲気にもなっていた。子どもたちにとっても、安心して過ごせる環境があるのだと思う。学校評価では、先生の評価の割合が低めに出ているのが気になった。個を見る保護者と全体を見る先生との差が埋まるようになっていけるとよい。挨拶や掃除などは大事。それが身について大人になることを望みます。
- 健康づくりの項目の評価が低いのが、食事・運動、睡眠のどこに課題があるのかを把握して、対応してほしい。
- 道徳の教科化やいじめ・不登校問題対応など、先生方も大変になってきていると思うが、総じて、子どもたちの表情が良かった。よい教育が行われていると感じる。
- 多くの教室で、電子黒板が活用されており、今の教育が見られた。ICT活用の効果はあると思う。先生方も活用方法など学んでいると思うが、更に効果が上がるように活用を進めてほしい。